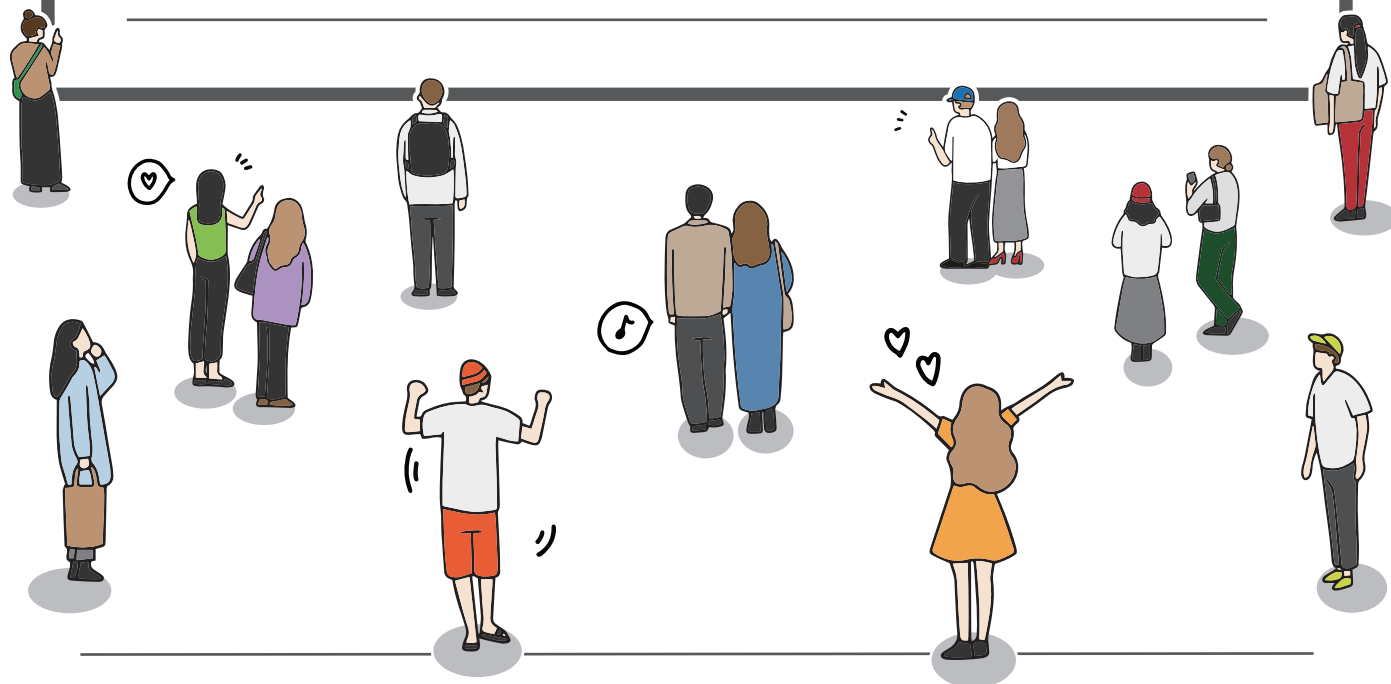


参加者募集！

九州産業大学＋国立西洋美術館 連携事業

国立西洋美術館で、 博物館浴[®]しよう！



開催日程

2026年

8月21日（金）

9月18日（金）

10月16日（金）

いずれも夜間開館日

17:30～20:00（入館は19:30まで）



参加料

無料

（常設展入場券は各自でご購入ください）



研究内容・取材のお問い合わせ

九州産業大学 総合企画部 広報課
kohoka@ml.kyusan-u.ac.jp



会場

国立西洋美術館 常設展示室

東京都台東区上野公園7番7号



参加方法

事前申込不要

本館1階ロビー（東側）にて参加受付
夜間開館時間内は、いつでも参加可能
（当日のプログラム詳細は裏面をご参照ください）

主催：九州産業大学

協力：国立西洋美術館

参考資料：「博物館浴」で検索すると、新聞や
インタビュー記事等をご覧いただけます。



九州産業大学

九州産業大学美術館
Museum of
Kyushu Sangyo University



国立西洋美術館
The National Museum of Western Art

ロンドン大学（英国）の Daisy Fancourt 博士ら（2019 年）は、「芸術を鑑賞する機会の多い人は、鑑賞する機会を全く持たない人に比べ、死亡率が有意に低い」という報告をしました。こうした研究を踏まえ、英国の NHS（国民保健サービス）はロンドン大学などと協働し、文化芸術を活用したメンタルヘルスプログラムを地域住民へ提供しています。

また、カナダ、ベルギー、スイスなどの医療保険制度では、医療従事者（主に医師）が地域のリンクワーカーを介して、患者に適した博物館が行う教育プログラムへの参加を、薬と同じように「処方」し始めました。

ところで、日本では超高齢社会に突入し、多死社会が現実化してきています。これから約 20 年後には、団塊ジュニア世代が全て高齢者になる「2042 年問題」が浮上し、社会保障費の増大、勤労世代の減少は大きな課題です。

そして、児童生徒の不登校が約 35 万人（令和 6 年度文部科学省調査）、若者のひきこもりが約 65 万人（内閣府：令和 5 年 3 月発表）に上っています。さらに深刻なことは、労働者の 68.3% が「強い不安、悩み、ストレスを感じる」というデータ（令和 6 年度厚生労働省調査）もあります。

こうした社会課題に、文化芸術、そして博物館・美術館はどう立ち向かえるのでしょうか？

私たちは、地域の医療・福祉機関と連携した、地域住民のための「博物館浴®（博物館見学を通して、博物館の持つ癒し効果を人々の健康増進・疾病予防に活用する活動）」の研究を進めています。

博物館に行くと、「広くて落ち着く」「絵を見ると、うっとりする」などの声を聞くことがあります。しかし、これは個人の感想で、科学的な根拠はありません。

そこで、博物館の作品を鑑賞する前後に、生理測定（血圧、脈拍、自律神経などのバイタルデータ）、心理測定（POMS による感情評価）を行い、リラックス効果を判定する実証実験を、2020 年 9 月から始めました。これまでに全国 110 の博物館の協力を得て、1,850 名のデータを集めています（2026 年 3 月現在）。国立西洋美術館では、2024 年 6 月 24 日と 7 月 8 日、そして 2025 年 3 月 31 日、10 月 20 日に、大学生、会社員、育休復帰者、高齢者などの皆様の協力を得て実施しました。

今回は、国立西洋美術館の夜間開館にあわせ、「金曜の夜は『博物館浴®』で、デトックス・リラックス。』というテーマで、実証実験を行います。こうしたストレス予防型リカバリープログラムを通じて、博物館が「健康・ウェルビーイングの場」、「メンタルヘルス支援の場」として、新たな価値を創造する可能性について、皆様と一緒に考える機会になることを願っています。

※博物館法に基づき、歴史系・美術系・自然科学系などの施設を「博物館」と定義します。



博物館浴® ロゴマーク



当日のプログラム



「夜間開館」
実証実験



17:30～ ——— 「夜間開館」実証実験開始 ———

鑑賞前後に 脳の覚醒度・自律神経のバランス を測定します。
※ 測定場所：本館 1 階ロビー（東側）

測定は、ご自身のスマートフォン、またはタブレットを使用します。

詳しい測定方法は鑑賞前に会場の案内資料をご覧ください。

～20:00 ——— 実証実験終了 ———

（最終入館：19時30分まで）

入館・鑑賞時間はそれぞれ
ご自由にお楽しみください！



○ナビゲーター

緒方泉（九州産業大学地域共創学部）、中込潤・吉田公子・福岡加容・土屋和美（九州産業大学美術館）、吉村有司（東京大学先端科学技術研究センター）

○留意点

実験参加者の個人データは、研究目的以外の使用や第三者に提供することはありません。また、すべての自律神経測定器による計測は、非侵襲により身体を傷つけることなく行う実験手法であり、痛みなどはありませんのでご安心ください。

○人権の保護及び法令等の遵守への対応

本プログラムでは、参加者の自律神経データ等を収集するため、九州産業大学「ヒトを対象とした研究に関する倫理委員会」の承認を得た上で実施します。なお、収集したデータについては、個人情報特定されないよう匿名化した上で、専用の記録媒体に保存し、研究代表者・研究協力者以外が見ることができないようにします。